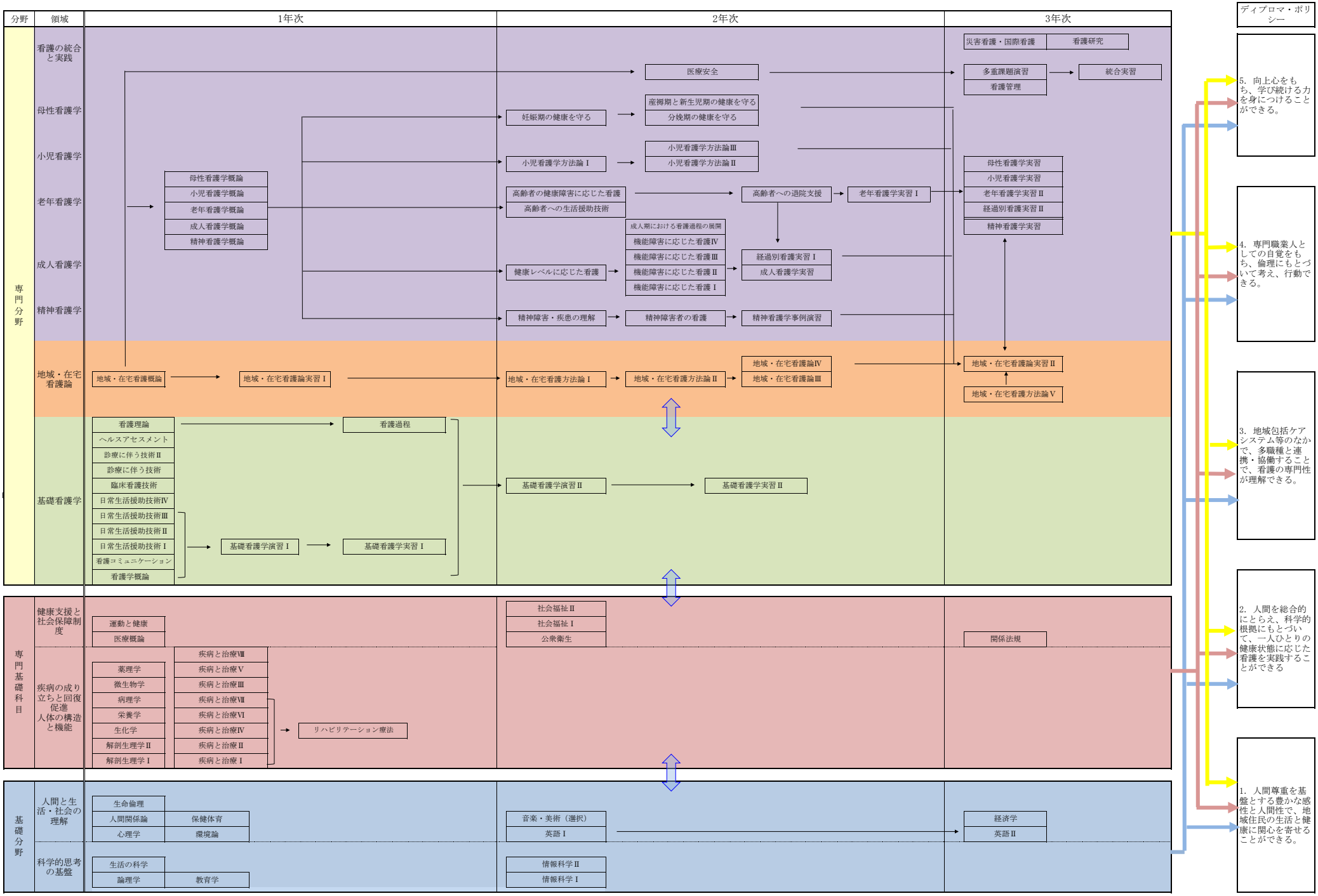
カリキュラムツリー


分野
領域
1年次
2年次
3年次
ディプロマ・ポリシー
専門分野
看護の統合と実践
母性看護学
小児看護学
老年看護学
成人看護学
精神看護学
地域・在宅看護論
基礎看護学
母性看護学概論
小児看護学概論
老年看護学概論
成人看護学概論
精神看護学概論
地域・在宅看護概論
地域・在宅看護論実習Ⅰ
看護理論
ヘルスアセスメント
診療に伴う技術Ⅱ
診療に伴う技術
臨床看護技術
日常生活援助技術Ⅳ
日常生活援助技術Ⅲ
日常生活援助技術Ⅱ
日常生活援助技術Ⅰ
看護コミュニケーション
看護学概論
基礎看護学演習Ⅰ
看護過程
基礎看護学実習Ⅰ
医療安全
妊娠期の健康を守る
産褥期と新生児期の健康を守る
分娩期の健康を守る
小児看護学方法論Ⅰ
小児看護学方法論Ⅲ
小児看護学方法論Ⅱ
高齢者の健康障害に応じた看護
高齢者への生活援助技術
高齢者への退院支援
老年看護学実習Ⅰ
成人期における看護過程の展開
機能障害に応じた看護Ⅳ
機能障害に応じた看護Ⅲ
機能障害に応じた看護Ⅱ
機能障害に応じた看護Ⅰ
経過別看護実習Ⅰ
成人看護学実習
健康レベルに応じた看護
精神障害・疾患の理解
精神障害者の看護
精神看護学事例演習
地域・在宅看護方法論Ⅰ
地域・在宅看護方法論Ⅱ
地域・在宅看護論Ⅳ
地域・在宅看護論Ⅲ
基礎看護学演習Ⅱ
基礎看護学実習Ⅱ
災害看護・国際看護
看護研究
多重課題演習
看護管理
統合実習
母性看護学実習
小児看護学実習
老年看護学実習Ⅱ
経過別看護実習Ⅱ
精神看護学実習
地域・在宅看護論実習Ⅱ
地域・在宅看護方法論Ⅴ
専門基礎科目
健康支援と社会保障制度
疾病の成り立ちと回復促進
人体の構造と機能
運動と健康
医療概論
薬理学
微生物学
病理学
栄養学
生化学
解剖生理学Ⅱ
解剖生理学Ⅰ
疾病と治療Ⅷ
疾病と治療Ⅴ
疾病と治療Ⅲ
疾病と治療Ⅶ
疾病と治療Ⅵ
疾病と治療Ⅳ
疾病と治療Ⅱ
疾病と治療Ⅰ
リハビリテーション療法
社会福祉Ⅱ
社会福祉Ⅰ
公衆衛生
関係法規
基礎分野
人間と生活・社会の理解
科学的思考の基盤
生命倫理
人間関係論
心理学
保健体育
環境論
生活の科学
論理学
教育学
音楽・美術（選択）
英語Ⅰ
情報科学Ⅱ
情報科学Ⅰ
経済学
英語Ⅱ
5. 向上心をもち、学び続ける力を身につけることができる。
4. 専門職業人としての自覚をもち、倫理にもとづいて考え、行動できる。
3. 地域包括ケアシステム等のなかで、多職種と連携・協働することで、看護の専門性が理解できる。
2. 人間を総合的にとらえ、科学的根拠にもとづいて、一人ひとりの健康状態に応じた看護を実践することができる
1. 人間尊重を基盤とする豊かな感性と人間性で、地域住民の生活と健康に関心を寄せることができる。